

科目名	英語	英文表記	English	2023年3月17日		
科目コード	2003					
教員名：新川智清、角田キャティ、Timothy Newell 技術職員名：				作成		
対象学科／専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全学科	2年	必	履修	3単位	演習	通年
目標及び評価方法	目標項目		評価方法及びその割合			
	①易しい英文を大量によむ多読学習法によって英語の基礎力を確実に定着させ、YL(読みやすさレベル)1.4程度の図書を読めるようにする。 ・授業中に前期は週9千語、後期は5千語以上を読むようにする。		①定期試験25%X2=50% 読書語数及び内容10%			
②体系的な英文法学習を導入し、多読と併せてTOEIC BridgeのReading部門に対応できる基礎的読解力を身につける。		②文法小テスト20% TOEIC Bridge IP Reading 20%				
高専目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	
	◎	○	○	○	全プログラム	
JABEEプログラム教育目標		C-1 C-2 C-3 C-5				
授業概要、方針、履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・読むレベルが違うそれぞれの学生に対応できる様々なジャンルやレベルの多読教材を準備し、授業内外で英文多読を継続できるよう個人指導する。 ・基礎的な英文法の学習により、その定着をはかる。 					
教科書・教材	『めざせ100万語 読書記録手帳』（SSS英語学習法研究会）・総合英語Forest・Framework English Grammar in 23 Lessons・多読図書教材-Oxford Reading Tree, Longman Literacy Land, Oxford Bookworms, Penguin Readers, Cambridge English Readers, Macmillan Readers など					
授 業 計 画						
回次	授 業 項 目	時間	授 業 内 容		予 習 項 目	
1～30	多読教材を用いた各自の学習	60	<ul style="list-style-type: none"> ・多読三原則を再確認し、一年で到達したレベルより低いレベルから読み始める。 ・一年間の多読を経験し、読むレベルや速度が違う学習者に対して個人指導を行う。無理なレベル上げを避けて、チャンプルー読みをするよう勧める。 ・YL1.4程度の英文を日本語を介さずに毎分90語程度で40分以上継続して読めるようにする。 ・読んだ本については、読書記録手帳に、総語数、YL(読みやすさレベル)、シリーズ名、感想を記録する。 ・文法書を用いて体系的な文法を指導し、適宜小テストを実施する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・授業外多読 ・辞書を用いて英文法予習 	
	前期末試験	[1]				
31～45	多読教材を用いた各自の学習	30	<ul style="list-style-type: none"> ・一分間に読む語数を100語前後とし、それ以下の場合には、レベルを上げすぎでないか個人指導を行う。 ・文法書を用いて体系的な文法を指導し、適宜小テストを実施する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・授業外多読 ・辞書を用いて英文法予習 	
	後期末試験					
学習時間合計		90	実時間		75	